

3 設問別調査結果 [算数]

小学校 [算数]

京都市を除く京都府一生徒（公立）

集計結果

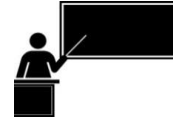
	児童数	学校数	平均正答率
京都府（公立）	10,022	206	67.7
全国（公立）	1,028,177	19,260	66.6

分類・区分別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)	
		京都府	全国
学習指導要領の領域	数と計算	64.0	63.2
	量と測定	55.1	52.9
	図形	77.1	76.7
	数量関係	68.8	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	—	—
	数学的な考え方	63.8	62.2
	数量や図形についての技能	73.1	73.6
	数量や図形についての知識・理解	72.1	70.1
問題形式	選択式	76.7	75.7
	短答式	73.3	72.8
	記述式	49.2	47.4

◇ すべての領域において全国平均を上回っている。無解答率についても、すべての問題で10%より低い。

◆ 式が表すものについての理解や、式が表している数量についての説明に課題がある。立式するだけでなく、式についての理解を深め、式について説明することが望まれる。



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	領域	正答率		無解答率	
			府(※)	全国	府(※2)	全国
1 (1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	図形	94.5	93.1	0.1	0.1
1 (2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形	59.7	60.3	0.7	0.6
1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	量と測定	49.9	43.9	4.9	6.7
2 (1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	数量関係	95.8	95.2	0.2	0.2
2 (2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	数と計算・数量関係	78.6	78.6	0.8	1.0
2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	量と測定・数量関係	52.6	52.1	1.4	2.0
2 (4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	数と計算・数量関係	58.2	60.1	0.7	1.0
3 (1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	数と計算	82.6	81.8	0.7	0.9
3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く	数と計算	31.7	31.1	7.9	10.8
3 (3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	数と計算	77.8	74.9	1.4	2.1
3 (4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	数と計算・数量関係	49.6	47.0	1.8	2.2
4 (1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	数量関係	84.1	82.7	1.2	1.7
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	数と計算	69.3	68.6	3.2	4.4
4 (3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	量と測定・数量関係	62.7	62.6	2.6	3.5

※府(京都市を除く)の正答率が全国の正答率より低い問題についてはセルの色を■で、表示しています。

※2 府(京都市を除く)の無解答率が全国の無解答率より高い問題についてはセルの色を■で、表示しています。